明治三十年七月十八日印刷
明治三十年七月二十日發行

婦人衛生雜誌

第九拾貳號

私立
大日本婦人衛生會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

大日本婦人衛生雜誌
第九拾貳號
目次

講演

◉食物調理法　醫學博士　長井長義君

衛生叢談

◉慈母の哺乳の障害
◉大氣中の塵
◉水の事
◉氷の需用
◉葡萄製酒類
◉蕃薯と馬鈴薯
◉空氣療法
◉子宮癌種の咄
◉疫癘の原因に就ての講話
◉廣告數件

大日本婦人衛生雜誌
第九拾壹號
目次

講演

◉伯林職工午餐場　理學博士　長井長義君

衛生叢談

◉痲疹に就きて　G　K
◉飲食物に就きて
◉室内の掃除法
◉病人看護法
◉婦人衛生會新潟支會講演
◉子宮癌種の咄
◉大日本婦人衛生會記事
◉廣告數件

婦人衛生雜誌第九拾二號
（明治三十年七月二十日發行）

講演

◉食物調理法（一月例會）

理學博士 長井長義君

今日は婦人衛生會の當年の初會に當ッて演說を致すやうに御依賴を受けまして、誠に難有仕合で御座います是れより改めて新年の御祝義を申上げ、併せて本會が將來益々御盛運に赴かれんことを希望致します。

昨年十二月の會に於きまして伯林府職工午餐の事を申上げました、其序でに食物……我々共の食物、殊に學校へ參りまする處の幼年の兒女の食物に就て、皆樣方は申すに及ませぬが、下等社會の者と雖どもそれ〳〵注意をする樣に、此事を皆樣から御示しあらんことを願ひまして、其際に特に御注意を願ひましたのは、啻に良い食物を撰ぶばかりでなく、是れまでも食物に致しましても其製方に因ッて隨分充分な養分ともなり、或は全體滋養に富みたるものでも製方が惡るいと、更に養ひを爲さゞるのみならず、反ッて害の有るといふことを鳥渡御注意申上げて置きました。其節に其取扱、即ち製方に就て我邦に必要なる事だけを申上げませうと御約束を致しました。併し之を一回に述べ終るといふことは到底出來兼ねます故、當月より若しも他の演說者に差支のあッた場合に其補缺として順次に申上げますことに致します

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ソレで先づ総体の事を申上げます、我々が食物と申す處のものはどふ云ふものであるかといふことは解り切つたことの様てありますが、又熟く考へて見ますと、單人間が食物を取ると云ふだけでは、如何にも茫として居ります故其道理を一應申上げます。我々の食物と申すものはどういふものであるかと云ふ事を前に考へて貰ひたい、我々が生活をして居りまするに當ツて、食物を要する理由は丁度坪井君の解剖生理の講釋で詳しく御聽きで有りませうが、人が幼少にして、是れより愈々からだが成長しなければならむといふときには、輙ちからだに成もの、からだの要素を外から取らなければならない又からだの、中に於て用を爲しました處の陳いものは、種々の形狀に變じて外部に排泄される、ソレをあとから毎日補つて往かなければならない。ソレから又成長すると、からだの要素を造ると云ふ側には要りませぬが、さりながら精神身体を始終勞しますので陳いもの、輙ちもはや養ひを爲さぬ處の分素が、兩便汗或は垢とか云ふやうなものになッて外に排出され、或は皮膚が剝落して参る、さう云ふやうな工合に陳いものは体外に出まして、而して其償ひにからだに新らしいものを入れて往く輙ち新陳代謝して始終からだの成分を元に復すものを指して食物と申すのであります。デ我々が食物と致してからだの中に入れまするものは種々雜多の形狀か有る、併ながらからだに入るゝ其ものが必ずしも皆からだに成ると云ふ譯ではないので、其中から食滓が殘りまして、それは前に申し上げた通り、種々の形になつて体外に出るので御座ます。それで其食物、或

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

は養ひを致しまする處の食物、又食物の中のからだの營養になる成分と、此三通りに分けるのが判然として宜しからうと思ひます。

ソレで養分になる處の物は、元より單純のもので有りませんで、食物をいろ〳〵合せましたものが始めて養ひになる、それなれば食物といふものは單純のもの、言ひ換えれば一成分から成立ッて居ッて、それをいろ〳〵併せ食べなければ養ひにならぬかといふに爾うではない、食物の中に種々養ひになる成分を含んで居ります、其成分を調べて見ますると五通りにあります。

水蛋白脂肪窒素を含まざる處の炭化水素澱粉の種類或は砂糖の種類、塩類燐酸鹽類燐酸石灰とか云ふやうな五通りがからだに必要のものでありまして、此物がからだの中に食物の形で這入ッて而して成分になり、それ〳〵役目をすると陳くなッて役目を爲さんやうになるので兩便の形汗息或は皮膚が剝けて外に排泄される、それが一日にどの位出るか、大人は幾ら、小兒は幾らかと云ふやうな事は生理學の方に關しますから、定めて坪井博士から申上げたらうと存じますから私は申しませぬ此水蛋白脂肪澱粉質塩類の五ッをからだの中に入れまするに當て、若しも蛋白ばかり、豚、牛とか或は澱粉は米の粉、水は水、脂肪は脂肪、塩類は塩類といふ樣に、一々別に入れては迚も毎日消化することは出來ませぬ、之をよく養ひになるやうに入れるには、消化の出來るやうな形にしまして而して胃腸がそれに倦きない様にしなければなりませぬ。さう云ふ蛋白質であらうが若くは澱粉脂肪であらうが、凡て是等のものがからだの

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

中に這入りますと、どうしても一旦水の如く溶解して血液の中に吸收さるゝのでございますから、どうしても硬いまゝの形体では養ひにならむ、それを口腔に入れると、口の中から稍消化をしはじめて。それが食道を通ッて胃に入り。胃の中で水のやうに變化し、又腸に於ても變化をして、其中に漸々血管の中に吸收する仕掛になッて居りますので、兎に角一旦は水のやうにならなければならない、爾う云ふ仕掛になッて居る事故、成べくそれ等の蛋白質澱粉脂肪とか申す處の物をからだの養ひにしやうといふには、水の如く溶解し易いやうにしなければならない、只其形の儘でからだの中に入れても決して目的通りにはなりませぬ。

それで各自どもがいろ／＼の料理をする其目的は成たけ容易く消化するやうに、消化するといふのは外ではない、溶けて水の樣になッて、血管によく吸ひ込まれるやうな形にしまするのが料理の目的で御座いますそれは、化學の力で、からだに入れない前から食物を消化し易くする仕掛が有ります、然らばそれは毎でも同じ樣な形狀にすれば宜いかといふに、又是れ人間のからだは奇妙に出來て居ッて、毎も同じやうな形狀では胃がそれに倦きて、後にはそれを受けつけない樣になります。只各々が毎日からだの中に入れて厭にならないのは水或は米飯、是れは毎日同じものを食べても厭にならん、併ながら蛋白質より成立ッて居る肉等は、毎日同じものを食べさせられては厭になります、時々品を換え形を違へないと胃が受けつけない厭だと思ふとやはり消化力も減ずる。又砂糖の如きも小兒は好みますが、大人になると毎日砂糖

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の這入ッたものを食べるのは厭になります、輙ち形狀を變じて這入り易くし、又消化し易い樣にするが爲め料理にも、いろ〳〵の法が有る譯合で御座いますそれで、前に述ぶるが如く五通の主なる養分は其儘ではからだが受けつけない、又形を變したるばかりでも受けつけない、それを受けつける爲めに味を附け、鹽醬油味噌とか。胡椒山椒生薑の類を用ひる、是等は決してからだを養ふものでは有りませぬ、或は茶珈琲等も、水をからだに入れるといふのが目的ではあるが、水ばかりでは味が無い故厭になる、それ故に澁い香のするものを混て、からだに這入り易いやうにするので御座います、斯う云ふやうな嗜好物が營養物の外に又必要であります、是れは其物だけでは養ひになりませぬが、養ひになる物をからだに運ぶ道具のやうなもの故、通例食物の附屬物として置くので有ります、且つ又胡椒山椒の如きものは澤山食べては害になるが、少量なれば消化力を助くるので必要の一物になッて居ります。

デ食物と養分とは斯樣な譯合で御座いますから、幼年の人の養ひと、成長しました人で仕事を致しまするものゝ養ひ、又仕事をするにも主に精神を勞して仕事をする人の養ひ又力を專ら用ひて仕事をする人の養、又老齢者の養ひ、又平生の有樣と違ッた、則ち疾患に罹ッた時分の養ひは自ら異て参らなければならない。私が殊に皆樣方に願ひたいのは小兒の養ひ、是れは名〻どもが幼小い時分にからだを强健にして置きませぬと、大きくなッても小さい時分にからだを損した害が始終着いて参る、それを成長の後回復することはなか〳〵容

易の事ではない、場合に因ッては遂に回復することさへ出來ぬにたち到ります、譬へ精神は健かでありましても、からだが病氣では充分に用を爲さない。今我邦は進むが上にも益進んで往かなければならない秋で有りますから、日本の國民たるものは精神身体共に健かに、充分に用を爲さなければならぬのでございます、衛生會等の盛に創立せれたるも、亦此所以に過ぎない、特に養ひの事に至ッては、男子の力の到底及ばざる處で、どうしても御婦人の力を籍りなければならない、此点は衛生の事業の中でも殊に重きを措いて戴かなければならぬので御座います。常に人は病氣にならぬやうに防禦し、又病氣に罹りたる上はよく看護して快復するやうに力を悉さなければなりませぬが、是れは變の方で、若しも平生からだが丈夫であッたならば病氣に罹る患ひもない、病氣を豫防するのは申せば火事の用心、盜賊の用心をすると同じで、必ず毎日遭遇することで有りませぬ、それに反して平生からだを養ふことは、病氣と違ッて毎日缺くべからざること、果して之が過不及なく確に出來ましたならば、容易に病氣に罹らぬ理由故、茲はどうか皆様の御盡力に依ッて小兒の時分からからだの丈夫になるやうに、食物は消化し易く拵へ、其品と撰ぶは勿論、其分量も時刻も大約定める様に致したい。斯う云ふことの注意は、男子は道理は知ッて居りましても、實際の事は出來ませぬ、是れは返す〴〵も皆様に願ふ處で有ります。

そこで前に言ふ五通りの食物をドの位の割合に食べたら宜いか、又養分は如何なるものに澤山含ん

で居るかといふ事を申します。食物の成分、水蛋白脂肪澱粉鹽類を含む處の食物を分けますると、大体二通りになります、一は動物質の食物、一は植物性の物です其外水は天然に涌出するもの、鹽類は食塩としてあるもの丶外に前申上げた處の動物質の食物、植物性に屬する食物の中に、自ら好い加減に含まれて居りまするから、殊更に塩をからだに入れる必要はない、けれども鹽といふものは、骨爪歯等を形造くるには、どうしても必要の成分てあります。動物性の食物も細別すると、是又いろ〱有りますが、先づ大別をして獸肉鳥肉魚肉介類、又植物に屬するものは茄子大根の種類、其外我々に取ッて最も大切のものは、米麥豆類です、其外附屬食物として胡椒山椒生薑唐辛子等是れは先に申す通り、直接に養になるものではなくして、食物の味を好くして消化を助けるものであります。

デ先刻主に精神を勞するものと力を用ひるものとは食物が違はなければならぬ、又大人と小兒とも違はなければならぬ、小兒は消化器も充分成熟して居らぬ故、こなれ易いものでなければならぬといふことを申しましたが、その爲めに乳といふものがあッて、小兒の食物として是れに上越すものは有りません。それから就學年齢に達した者なれば歯も備ッて居るゆへ、乳の外に前に申した動物の肉米飯を用ひる。此動植兩性の食物の中、孰れを多く取るのが宜しいかと申しまするに、是れは分量の多寡又其人の職業に因て違ひますが、先づ凡そ是れまで人の研究した處では蛋白質一分なれば澱粉質は四分位餘計に食べる釣合になッて居り

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ます、其中でも精神を勞する方には、からだの中の蛋白質が餘計費へますから、それを補ッて往くには肉類を餘計食べなければ往けませぬ、又常に力業をする者は澱粉質が餘計費へますから、割合に澱粉を多く取らなければ充分に仕事か出來ない譯であります、是れは皆樣も日に御實驗になることゝ思ひます、下等社會の車力土方等のあまり精神を勞せず、身體の勞働を烈しくするものは、我々よりも殆ど一倍も食べなければ仕事が出來ないと云ふ確かな證據が有ります。それに反して政治の事を司ッて居る方とか云ふやうな方は飯は餘計召上がらむ、是れで先づ食物の種類の大体は申上げました。次に其製方に就て申します。其中でも水は極く單純で、お茶にし、或は珈琲となし、或は塩などを入れ或は、吸物類と致して飲みます

先達て水の事に就て御話した如くに、凡そ大人になると、一日に凡そ一升から一升五合の水を呑み、なを餘計からだを遣ひまするものは、一日に凡そ三升位の水を純粹の水でなくても、お茶で飲み、おツゆで食べると云ふ樣にしてからだの中に入れなければなりませぬ、水に就ては別に製方と云ふことを申上げることも有りませぬ、此我々からだといふものは八方通りは水で有ります。而して若い者はこの水が餘計多い譯で有ります。故に水といふものは單純のものでありますが、大へんに必要のものであります。

次に蛋白質の物、是れは取扱ひの模樣に因ッて大へんに養ひにもなりますが、取扱ひが惡るいと半分は用を爲さないで、からだから出て仕舞ふ或は場合に由ると、稀には害をなすことも多いので、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

其製方はなか〳〵むづかしいもので有ります。デ肉類は禽獸魚肉を總括して申します、魚肉も拵へ方に因ッて大へんに効能が違う、からだに這入ッて一番消化の宜いのは、新鮮の魚なれば生肉が宜い、現に日本に久しく居る大學教授のベルッ氏は、胃病を病んで居るものには刺身生鶏卵を用ひさせます。歐羅巴あたりでは日本人が刺身を食べるのを見て變に思ッて居ッたが、それは大きに違ッて居るので、化學上から考へても生肉が消化し易くて宜い、併ながら注意しなければならむのは、夏暑い時には魚肉は他の肉類よりは一層早く形は變らないが、其味に於て腐敗し易い、又同じ魚肉の中でも紅色の身の方が早く腐れる、又腐ッた上で害を爲すことも紅肉の方が甚しい、此肉類が腐りますと、一種奇妙の毒が出來て、それは生命に係はる程の激毒であります、其毒は「プトマイン」といふ(魚肉より獸肉の方が烈しい)鰹節の惡るいのを食べると、からだ中が紅くあるのは此毒の爲めで、是れが一歩甚だしくあると隨分危險で有ります、又魚肉の中には蟲が棲息して居ります、蟲の中でも人間のからだに這入ッて大きくなるのは條蟲で有ります、是れは煮ると大抵は死にますが、生肉で食べると卵が肉の中に在るのを知らずに食べて仕舞ひます、肉は胃の中に消化されて血液の中に吸收されると、肉の中に包藏されて居ッた卵が出て、腸胃に生存して居ッて、食物が這入ッて往くと之を御相伴して成長し、何尺といふ大きさになります、割合に害は爲さないが、さりとて忽せにすべからざるものであります、條蟲の卵は鮭にもつとも多い、故に鮭はあまり生肉

を食べない方が宜いが、是れまでの料方では生の儘が多いやうです。又海老、是れも少し日を經ると他の物よりはやく惡るくなる、腐敗するとやはり「プトマイン」のやうな種類のものが出來て、若しも之を食べると大へんに害を致します、故に極く鮮しいもの丶外は生肉は危險ですが、是れさへ注意すれば生肉が一番消化が宜しいのでございます、それから魚肉の料理方は、從來日本では煮付、てり燒鹽燒酢漬鹽漬或は鹽に漬けて干物と致して食料に供しました。是等は煮れば何うなる、燒く時分には蛋白質がどの樣になる、鹽漬はどうなると云ふ事から、其時分に起ります化學的の變化、其中で如何なる料理が一番宜しいかといふやうな事の御話は、余り御正月の會としては長くなります故、次回に讓ります、此次には變化の仕かたを御覽に入れたいと存じて居ります、今日は是れで御免を蒙むります。

衛生叢談

◉慈母の哺乳の障碍

妊娠の末期にありまして其分娩の后極く良き乳汁の多量を分泌致し自ら哺乳をなしうべきや否やは容易く前知すること出來ませぬ殊更初產の人には一層困難であります何となりますれば乳房の肥豊は決して確かなる證據となすことができませぬ例へば非弱の婦人で未だ分娩しませぬ前に其乳房平旦にて小さければ乳汁の分泌は多分少なからんと想像致しまする者も出產の後は却て多量なることがありますこれに反しまして豐實なる善良の乳房

を有しまする强壯の婦人に於きまして其量の乏しきこと屢々あります然しながら妊娠の末期に當りまして試みに乳房を壓して可なりの初乳汁を流出し得まする人は恐らく初生兒の哺乳に足りまするものと信じられます或人は分身前の乳汁分泌の關係に就きまして三階級に區別致しました

第一に屬しまする者は妊娠の末期におきまして乳房を壓して辛ふして一二滴の初乳汁を流出しまして此初乳汁を顯微鏡下に驗しまして其主成分なる乳球及ひ初乳球の量共に小なきものを申します此の如き者は分娩致しまして后ち分泌致しまする乳の量甚た少なきものと見做します

第二に屬しまするは分娩の前に多量の初乳汁を分泌致しまするも其性狀第一の者に等しくありまして其主成分なる乳球及ひ初乳球共に少なき者を申します此の如き者に於きましては分娩の后ち實に多量の乳汁の製出致しますが其性質淡白にて滋養少なき者と思はれます

第三に屬しまする者は妊娠の末期に於きまして分泌しまする量は第二者に等しくありまするも其色極めて白くありまして乳球及ひ初乳球を含みますること多量であります此の如き者の產后分泌しまする乳汁は滋養に富みまして其分量も充分であります故に自ら能く初生兒に與ふるに最も適應すべき者あることを確かに豫言致しまするも誤りとは申しませぬ

又乳房の形體に就きましては乳頭の短く縮まりて突出致しませぬ者は哺乳を妨ぐるものであります之れは歐州婦人に多きと申すことであります之れは恐らく歐州婦人はコルセットと申す胸襠にて平常

其乳房を壓迫するに因りまして終に乳房を短縮せしむるに由ると考へられます故に婦女殊に妊娠せらるゝ者は注意して其胸襟を緩かになし其豫防をなすことが肝要であります然るに妙齢の婦女は乳房の大なるを恥となし之れを掩はんとのみ思ひまして其胸襟を緊迫致しまするの弊風を隨分見聞する處であります其既に短縮致しましたる者には妊娠中におきまして務めて之れを指にて捻り突出致すやうになし分娩の后ち嬰兒の口唇に容易く吮咀し得るやうになさるべし若し然らざる時には徒らに兒を苦め且自身も苦しみ遂には産后の回復を妨けまして加之乳汁の分泌機能を全く不能に陷ゆらしむる恐れあります何となれば乳汁の分泌機能は之れを働かしますれば愈々盛んとなりますし之れに反對に働せずにおきますれば益々減衰する者であります

乳頭を挽伸するの法は年長ましたる小兒に毎日哺ませまするか或は護謨製の乳汁喞筒を用ひて吸ひ出させますか或は適宜の孔口を有しまする玻璃罎に熱き湯を注ぎ暫時にして之れを流棄致し直に其孔口を乳頭に當てますれば其罎の冷却しまするに從ひて罎内の蒸氣縮小なし乳頭を内方に吸引して之れを曳伸すに至ります之れ吸ふべくの理であります

又体質虛弱の婦人でありますも貧困に因て起りまする精神感動や憤怒致しまするとある時には乳汁の不足なく能く其兒を哺乳すると屢々あります之れに反しまして頗る健康の婦人にても貧困憤怒悲歎等の精神感動に由りまして其哺乳を防害せられますともあります又貧血、梅毒、癲癇、結核病及

び遺傳の疑ありまする者癩病素質ある者等は皆な哺乳を禁せねばなりませぬ此等の体質の婦人の兒は稟性多少同病に感ずる者でありますその上に今又其兒を哺乳致しめますれば益々遺傳の力を盛んになし子々孫々遂に其病の減滅するの時はありませぬ又神經性（ヒステリー症）の婦人は其哺乳を禁せねばならぬと屢々あります此婦人は神經の感動鋭敏にしまして瑣細の事物に遇ひまするも忽ち劇く感動を起しまして乳汁に非常の變化を來たす者であります又高齢に達しまして初産を致しまする者は其乳汁の量少なくして稀薄なるを常と致します故に別人の乳を用ひねばなりませぬ又急性の諸病即ち疱瘡、痲疹、窒扶私、產蓐熱等は皆な乳汁の分泌を閉止致しますものであります若し閉止致しませぬも小兒より必ず離さねばなりませぬ

◉大氣中の塵

俗に塵の世と名附けましたる通り空氣は常に多少の塵埃を含み居りまして風靜かなる日或は雨天には此塵の運動も少なくあります塵の種類は千差万別の物より成りて居ります例へば石工場にては石の碎片が空中に飛び鑛業場にては金屬の粉末が塵となり藁商にては藁より塵をなす等でありますが先づ空中の塵埃を大別致しますれば三者の範圍内に屬します

一　肉眼にて視うべき塵埃

一　日光の塵埃

二　肉眼にて視るべからざる塵埃

肉眼にて視うべき塵埃とは土、砂、石粉、布毛の細片、炭末、絲纏等日常見る所のものであります

日光の塵埃とは大陽の光線を透して見れば細微の塵埃其中に充滿致し居るなり
肉眼にて視うべからざる塵埃とは有機動植物（病菌等を云ふ）煙等にして顯微鏡に非ざれば分知するを得ざるものであります
總て塵埃は天氣の工合によりまして空中に含まれまする度合に差異を及ぼしまするものであります
即ち乾燥しましたる空氣（晴天の續きたるとき）一立方メートル中には二十三ミリグラムの塵埃を含み居りますれども雨天の后即ち空氣の濕潤の場合には一立方メートル中に立ミリグラムニ減少しましたる例があります
塵埃は人類に向ひ一は器機的の損害を氣道に與ふるものであります即ち其質堅き物例へば石粉或は炭末が人の鼻孔或は口中より入ると甚しきに至りますれば氣管を害し終に肺臟の疾患を起すに至ります俗說にも石工は眼病を患へ或は短命なりと申しまするは强ち不可ではありませぬ又蒸氣機關の石炭を取扱ひまする工夫なども平常其粉末或は油煙を呼吸しまするが爲めに死して后之れを解剖致し其肺臟を檢しますれば炭末肺の組織中に浸入し其肺の上葉部黑色に變し堅くなります然し炭末は可成多く入るも直接に障害を起すこと少なく唯た肺の疾病を惹起すべき素因をなします之れを炭化肺臟と申します之れに反して鐵の小片（屑）が呼吸器に入りますれば肺臟を刺戟致しまして焮衝（腫れて痛みて其部が赤くなりて熱を起すことゝ）起します之れを鐵化肺と申します又石片にて侵さるれば之れを石化肺と申します其他稍大なる物体誤ッて氣管に入り之れを充塞致しますれば窒息を

起します假令窒息を起すに至らざるも氣管の内壁を傷け出血等を來たすの恐れがあります

塵埃中には多くの有機生物を混ずるものでありまして病を起しまする病菌も其他の細菌も此中に存します此肉眼で視うべからざる塵埃の有否を知らんと欲しますれば一閑張の机の如き漆にて塗りたる器具を清淨に拭ひて空中に放置すれば其上に積ります又硝子板にりすりんを塗りて之れを放置致しますれば之れに貼着致します之れを取りて顯微鏡にて觀れば了解致します又有機生物は塵の中に在りて尚ほ生活をなすべきか否やを檢すること肝要でありますれば塵埃を取りまして之れを培養器に植へ繁殖すべきや否やを檢せねばなりませぬ

空中に病を起しまする細菌の有無を証しまするには室内の塵埃を聚めまして之を動物の皮下に植いまするを破傷風或は惡性水腫と申しまする病を起します之れ空中に其病を起しまする病菌がありまするからであります又大醫コルチット氏は肺病患者の永時入院したる病室の空氣中に結核病菌を見出したりとの報告がありました其他疱瘡、痲疹の患者が居る室内の空氣中にも其病菌が存すとであります兎に角以上申上たる如く空氣は不潔物を混有致しまする故に些少なる傷を受けたる時なとは速に空氣の觸れぬやうに手當をせねば膿を生じ大なる疾患となりまから努〱油斷はなりませぬ

◉水の事

水は一の食料にして同時に嗜好品なり故に人にして一ヶ所に地をトして住居を定めんと欲せば先第一に注意せねばならぬは水なり即ち水の無き所に於ては食物を生ずると難しとす天然に湧出する

泉源なき地に於ては土地を堀り井を造り地底より水を索む斯の如くしても尚は水を求むると能はざる土地に於ては是非なく雨水を聚めて之れを供す世に飲料水と用水と區別する人ありと雖ども之れは無用の區別なりと大醫ペッチンコーフェルは申されたり蓋し用水不潔なれば飲料水の如く危險なればなり我國に於て今日尚は飲水と雜水と區別して使用する家諸々に存するを見るが之れは其危險を知らずして余計なる手數を煩はすに外ならずと考ふ即ち之は飲水故に其器も清淨ならでは叶はず之は雜水故に其器は不淨でも頓着せずと態々汲みとる井戸を二ヶ所となすは余計の徒勞ならずや夫れより寧ろ始めより器具を清潔にして其區別を爲さゞれば一度にて用は達しうるものなり若し用水不潔なれば流行病を傳播しうるものなり

雨水は又天水と云ひて水溜に雨を聚め之れを用ふ歐州中ウエチヂヒと云ふ所に於ては雨水を漉過て之れを用ふ又コンスタンチノーペル、琉球、印度の一地方に於ても之れを飲用に供すると云ふは雨水は空氣、硝酸、次硝酸、アンモニヤ、有機生物を混有し屢々腐敗して臭氣を有するとあり

地底水とは地上に降る雨の一部分は蒸散して雲となり一部分は土層を貫透して地底に行く其時に當つて土地に水を融解すべき物質あれば之れを融解して地下に聚る故に人体は有害なる成分を含有するとあれ共地層を通過する際に種々の理合に依て再び清淨となる依て土地の性質に從て水の性質を異にす地底水にて飲料并に使用に供するをうべき水は化學上の分析と細菌學上の檢査を經ねばならざるものとす

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

泉水は地底水にして自地上に流出し來るものを云ふ即ち地を少しく掘れば湧出す之は地下の鑽透せざる二層の間に集りて存するものなり故に性質は地底水に稍同し

河水は雨水が混じ無數の不潔物を含む即ち下水或は製造所の汚水の流れ入るために有機生物など甚だ多し然れども不潔物少なき場所を長く流れ行けば再び清淨となるものなり

衛生上に希望する水は概ね次の如し

飲料と使用とを問はず病菌を有せざるもの、美味なるもの、分量充分あるもの、石灰幷にマグネシア性分大ならざるもの、金屬（鉛、砒石等）を含まざるもの、腐敗を起すべき細菌少なきもの、臭氣ある瓦斯を含まざるもの、寄生動物及び其卵子なきもの、温度攝氏十度乃至十五度位にして大なる變溫を來たさざるもの、一メートルの硝子管に盛り其下に白紙を敷き上より覗き藍色を呈せざるものの等なり

斯の如く水は大切なるもの故に能く注意して個人的には器械を以て之れを濾過し使用しつゝありと雖も一國の人民にして盡く注意せしむるとは言ふべくして行なはれざる譯なれば諸々の大都府に於ては有志集りて水道の工事を營み公衆の衛生に注意を促がすに外ならず我日本に於て既に横濱に此擧ありて目下水道の水を使用し大に良結果を見るに至れり

東京の今日までの主なる水道の源は玉川上水幷に神田上水の二なり玉川上水は府下西多摩郡を流れ羽根村にて分岐し本流は六郷川にして分流は水道に行く然れ共其一部分は分れて千川となり板橋

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を經て巣鴨の溜池に來りて本郷に行く水道とめの本流は四谷大木戸迄小河となり是處にて木樋に依て市内に來る神田上水は井の頭の池を水源とし小河となり關口に來り木樋に入り市内に分岐す此水道は概ね木樋を以て造られたるが故に屢々木樋腐蝕をなし途中に裂孔を生し汚水の混入するを免ず從て衛生不健康を齎らすこと實に僅少に非ざるなり玆に見る所ありて目下水道改良の工事を肇め今より二三年の後に於ては全く完全なる水を市民は得るに至るべし而して水道工事幷に水の濾過法に至りては歐州ミユンヘン府に用ひらるゝ方法と略仝一否之れに勝るものならんとは信ずれ共未だ實地を目擊せざれば之れを確言するを得ず他日其實地を觀るの日あるを以て再び之れを報告せんとす

●氷ノ需用

氷の人に要用なるとは第一夏日飲料として暑熱を消し第二醫術上諸種の炎症に內又外用し第三庖厨の調理物及肉類瓜蔬の腐敗變性を防くには無二の良品なりとす歐米諸國に於ては飲料藥用に消費するよりは防腐貯藏上に使用すること多しと云ふ然るに寒帶地方にありて四時常に天然の氷雪ありと雖とも暖國及ひ熱帶の地方に於て素より之れを得るに由なし然れとも人智の進むに隨ひ氷室を設けて冬時嚴寒の候に當り天然の結氷を採集して之れを貯へ或は器械を以て之れを製造し四時所として容易に之を使用し得へきに至れり我國の如きは明治以前の昔日にありては每年六月中富岳の雪を採りて之を幕府に獻するの例ありしのみにして北陸の他は人々容易に得へきものにあらざりしが函館なる五稜廓に於て冬時許多の結氷を截取し氷室に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

貯藏し之れを東京其他の地方に輸出するものありてより需用漸く開け數十年以來各地方に於て此業に就くもの增加したるは實に悦ぶべしと雖ども或は其採集の場所と水質の不良とに因りて塵埃及び他の有機物を含みたる不潔の氷なきを保し難く概して之れを飲用に供すべきものと看做すべからす殊に九州地方の如きは季候暖和なるを以て嚴冬も猶ほ貯藏すべき程の氷を結ばざるが故に其以前長崎に於ては運輸の便にして價の廉なるが爲め支那上海の氷を輸入したること多額にして函館等の氷を販賣したるものなかりき上海の氷は多くは濁水の結氷なるが故に概して不潔物を含有すること甚し之れ衛生上注意すへきとあり器械製造の氷は射利的に非らずして學問上通りに之れを製造するを得れば完美の氷を得べけれ共目下世に行なはるゝ製氷は如何あらんか余は寧ろ天然氷の純粹のものを取るべし

◉葡萄製酒類

葡萄酒は葡萄の液を醗酵したるものでありますから醗酵に因りて變質しまする多寡と貯蓄の年數と醸造法のいかんとに因りまして其品位に多少の差なしとは申されませんが總て葡萄液に含みまする諸成分を此酒の中にも含みますから滋養强壯の効はあります（其成分を明記しまするは是ゝ處に必用なきがまゝ略します）葡萄酒の酸味は林檎酸塩及酒石酸塩でありまして決して醋酸は存しませぬ故に良好なる葡萄酒は他の醗酵不十分なる酒或は故らに甘味を加へましたる下等の酒の曖氣を生ずるが如き患はありませぬ然しながら砂糖を和して飲ますれば時によりて胃中の景況によりま

して瞹氣を發することがあります然るに善良の葡萄酒でも其貯へ方不注意にして永く空氣に觸れしめますればアルコールより酸素の多きアルデヒードと云ふものを生じます此物は健康上に傷害を與へますもの故に壜の口を開放し置くは甚だ宜しくありませぬ溫熱の候には殊更氣を注けねばなりませぬ若し又自然の酸味を去らんと思ひまするときは硫酸重土と云ふ藥を加へますれば自然の植物酸鹽類は沈下しまして硫酸鹽の幾分のみ之れに代りて酒中に抱合致し居ります然し此法を行ひますると同時に有用なる成分を奪はれ大に其美味を損するものであります坊間に販賣致しまする葡萄酒ポルト酒、セリ酒及びシャンパン酒の類は假令ひ甚だしき贋造でありませぬも故らに酒力を強くし香味を增し或は永く腐敗せぬ等が目的にて多少の詐術を加へぬものは殆んど稀れであります其中セリー酒及びポルト酒は大抵色味を粧ひ酒力を強くしたるものであります一体葡萄より製しましたる純粹の酒類は其一リーテル(凡そ五合程)の灰分中一グラム以上の硫酸鹽を含みたりてはありませぬにポルト或はセリーの灰分中には通常三より四グラムの硫酸鹽を含みおるものが多くあります斯の如く大量である譯は全く葡萄の不潔分を除去せんとして硫酸石灰を混したる詐術に出てたるものであります又製造の際砂糖を加へて其甘味を添へますることは一の詐術であります凶年にして葡萄の出來方不良の時には其實より出る液は薄き酸性を有するものであります斯の如き液にては假令醱酵は起しまするも酒味を保續するに十分なるアルコールの量を釀生することができませぬ此場合に於きま

して其アルコール分を增生せしめんが爲めに葡萄の搾液に砂糖を加ふることがあります或は香味の薄きものを蔽はんか爲めに久しく年を經て香味に富みたる上等の葡萄酒を加ふることがありますボルト及び他の赤色葡萄酒の色稀薄なるものに接骨木の實を採りまして其絞汁を加へまして適宜に着色を致しますこともあります又セリー酒に燒糖の溶液を用ふることもあります斯の如き着色は激しき害はありませぬが之れに反してアニリン色素或はコチニール(一種の虫)等を以て着色致しまするものがあります之は毒であります故に注意せねばなりませぬ之れを檢出致しまする方法は其酒を蒸發致しまして濃厚となし之れに毛或は布片を浸しますれば赤色に染まります

凡て葡萄製酒類を試驗致しまするには其比重を檢しアルコールの含量を測り固形物の全量を秤る等の諸法を最も確かなる法となしますか其試法は悉く化學者の任でありますから爰には畧します

ボルト、セリー、スウエート、シアンパン、等も亦葡萄實より釀造せられたるものでありまして葡萄酒よりアルコール分多く酸分少なきものであります

◉蕃藷ト馬鈴薯

蕃藷は寒國に產せずして暖國に繁殖するものなり中央亞米利加に於ては馬鈴薯を產せずして蕃藷を產す故に日々の食餌に供すると云ふ又馬鈴薯を輸入せざる諸國に於ては多く之れを食するものとす我日本に於ても中古以來之れを食用に供し殊更婦女子の嗜好に適せり然れ共其滋養の點に於ては遙かに馬鈴薯より劣れりと云ふ某分拆家の試驗に依れば歐州產は內國產に比すれば固形性分に富み從

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

て蛋白質、脂肪、澱粉等稍多しと雖とも之れを要するに大同小異なりと

本邦產蕃薯にして白色の種を河內國交野郡より出づ之は形ち大にして蛋白質に富むと雖とも甘味寡なし伊豫國中島より產するものは赤色にして其形ち中等甚た甘味あり然れとも蛋白質少なしと云ふ

馬鈴薯は諸國大抵之れを耕作す而して歐米諸邦の人民は普く之を食用し其需用は實に莫大にして殆んと米麥と仝一なり殊に馬鈴薯は種々の功用利益を併有す即ち何れの土地と雖とも容易く之れを耕作すべく又容易く之れを貯ふへく之れを調理すべく容易く消化すべきものにして且食物中極めて廉價なるか故に職工力役者等の貧民は日曜日に僅かの肉食をなすの外專ら脂肪にて他の植物と共に煮熟したる馬鈴薯を以て日常の食物となすの地方少なからす

馬鈴薯は壞血病（身体浮腫倦怠精神衰耗して皮膚に鉛色の班點を生し呼吸不利或は鼻口出血脚腫牙齦等を發する病を豫防するの効あるものなれは植物性食物中亦貴重なるものと云ふべし然れとも其營養力は甚た大なりとせす何となれば百分中固形成分の量は大約二十五分を保つと雖とも含窒素物の量は僅かに二分の一に過きす諸家の試驗によれば澱粉の量も九より多からず脂肪は實に僅微なり故に他の肉類又は魚類と併用せさるべからず

◎空氣療法

日本國は御承知の通り四方に海を繞らし海岸の出入たる所多く陸地には高山夥多在りまして海に山に至る所に必す風景を備へて居ります海は渺茫として廣く爲めに汚穢物は潮流によりて除去せられ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

ますから比較的清淨であります又山は青く致しまして樹木に富み火山脈に當りまする所には多くの溫泉が湧き出でます此結構なる國に生れたる吾人は實に幸福でありますから宜しく之れを利用致しまして疾病の療治をなすべきとが肝要であります

疾病の療法と申しまするど何か藥を服用するとか或は膏藥を貼用せねば療法でなき樣に思ふ方々もあらんが或る疾病によりましては決して藥劑などを服用致さずして空氣の良き所に行き養生を致しますると全快することができます古へも氣から病が出ると申しましたるが如く神經を勞して病を起しましたるものや肺病、脚氣等の人は此空氣療法が最も適當と思はれます

凡そ氣候と申しまするものは空氣中に發現致しまする千態萬狀の現象が地球上に生活致しまする動植物に及ぼしまする働きを申す者でありまして此現象を發しまするものは電氣、光、熱、濕氣、氣壓であります此五者は地球の太陽に對しまする位置や地上の經度幷に緯度、山谷海陸の工合によりて諸種に變化を現はし地球上に生活しまする動植物に一定の感應を起させます故に吾人の健康は此氣候に大なる關係を有するものであります之に因て害あるときは之を避け害なきときは之れに就き健康を保たねばなりませぬ之れを氣候療法と申します氣候を學問上に區別致しますれば四種とします

第一、高山氣候とは海面より高さ三千より三千五百尺以上の山の氣候を申します斯の如き高山になりまするど空氣は稀薄となり壓力は少なく溫度

も低く風力は乍ち轉變致しまして濕氣は至つて僅少であります此氣候に人類が觸れますれば肺臟や皮膚より水分を排泄致すと盛んとなりて為めに新陳代謝を進め身体に刺戟强壯の効あるものでありますが虛弱なる人や神經過敏なる者や老幼者は之れに堪ることができませずして反て眩暈、頭痛、出血、動氣を起します

第二、海面より千より三千尺の高山にありまする氣候は人名つけて森林氣候と申します之れは多くは山間にありまして其周圍は連山で取り圍みて居ります故に烈風を防ぎますから草木は繁茂致しまして森林をなします此所には樹木の新陳代謝に由りまして、阿巽と申しまする酸素の集元素を形成致し水蒸氣を集め取り樹葉は日光を掩ひ遮りまして樹陰を成し空氣は清冷でありますから皮膚や呼吸器に爽快なる感覺を與へます短く申せば森林氣候は前者の如く酷烈でありませずして神經、皮膚及ひ呼吸器を輕く刺戟致し其機能を催促して身体を强壯に致しまするものでありますから神經病、皮膚病并に呼吸器病者は宜しく地を撰み轉地療養せらるべし

第三、低地氣候とは海面より千尺以下の地の氣候にして溪谷平原の氣候を申します此氣候は光、熱、濕氣等能く其中和を得まして寒熱風濕の變動急劇でありませず此所にありましては人体諸器の官能を休ませまするが故に高山氣候に堪へられませぬ患者に適當であります

第四、沿海氣候とは海に接しまする土地の氣候を申します此所にては空氣は濃厚にしまして濕氣多く寒暖の差甚だしくありませぬ故に强壯者の攝生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

等に宜しくあります

●灌腸のこと

常陸國大洗岬に於て　G・K・

之は器械にて藥汁を肛門より腸中に注入致しまする法を申して灌腸器と云ふ器械或はポンプを用ひます其目的は種々ありますが便秘の時に大便を下痢せしむる目的に行ひまする事が一番多くあります之れを催下灌腸法と申します之れに用ひまするは微温湯、石鹼水、リスリン、其他諸種の藥液であります之れと反對にして下痢甚しくある場合に之れを止むる目的に行ひまするを止下灌腸法と申します之れには澱粉液(葛の粉の類)、燕麥煎汁、亞麻仁煎汁等を用ひます又腸内の病の治療に藥液を腸中に注入しまするとがあります之れを注腸法と申します又或る病に依りまして患者は飲食しまするとが出來ませず又は大病の後に著しく衰弱しましたるものには滋養の爲めに肉汁、卵黄若くは牛乳を腸中に注入しやるとがあります之れを名付けまして滋養灌腸法と申します

灌腸を行なひまするには第一便器を備へ置きまして(尤も上圊の出來まするものは備へ置くに及びませぬ)次に醫士の命しましたる如く藥液の溫度を檢査しまして後之れを灌腸器に盛り其管の端に油を塗り(通例オレーフ油を用ふ)病人を成るべく臥床の側部に倚らせ膝を屈げしめ臀を褥の外に出さしめ褥の上には油紙を敷き置くべし而して看護人は左の拇指と示指とにて臀を開き右手に灌腸器を採りまして先づ管の嘴口より二三滴の藥液を排出し腔中に含みまする空氣を除き去りて徐に嘴管を肛門内に少しく後方に向ひて一寸ばかり送入

致しまして更に左の手にて灌腸器の筒を握り右の手にて器の中の棒或は護謨球を徐かに動かすれば藥液は肛門内に入ります
痔疾等の病に依りましては往々肛門緊く閉ぢ又は痛みありまするため嘴管の入り難きことがあります此時には十分に油を塗り嘴管を少し回轉しつゝ最も徐かに送り入れねばなりませぬ又病によりて横に臥し難きものは仰臥せしめ兩脚を開かせ膝を屈めしめ臀の下に軟き枕を敷き其部を高くなして灌腸致します

（以下次號）

新瀉文會講演

●子宮癌腫の話（前號の續）

高橋辰五郎君述

癌腫の蔓延すると未だ子宮の周圍に及さゞるものは其治療容易なるも若し少しにても周圍に及ぼせしものは其治療甚だ困難にして恰も草根の地中に蟠蜿するか如く之れを切除するに當り少しにても其殘りあるときは二三ケ月の後又復其根より再發し（當人の氣分には何とも異變を感ぜざるべきも）到底切斷の効能を見る能はず唯死を待つの外なきなり是れ則ち初め切斷したりし如くに思惟せしもの決して全く除去し得たるにあらざるを知る可し同じく癌腫にても子宮内面に發生せるものは水液の出づる位にて時として醫師も内膜炎と誤診するとあり之れを見分くるには匙の如き器を以て内部より掻き取り顯微鏡を以て之れを精査するを要す此の如くすれば其癌腫なりや否やは直ちに判定

するに難からず
西洋に於ては夙とに醫術も開け治療法も完全なるに猶は癌腫患者に切斷を施こし得るものは百人に付二十五人又切斷して全く再發せざるものは施術患者百人に付二十五人即ち全癌腫患者の六人二分五厘の割合なり我が邦にては早く治療を施さゞるが爲めに再發せざるもの甚だ稀なり而して此患者は死に至るまで平均一年乃至一年半に及ぶ斯く長病あるも彼の胃癌患者の如く當人が苦惱するのみにあらず近傍にあるものも頗る迷惑なり西洋及ひ日本にても癌腫は下等社會に尤も多く上等社會に二人壹分下等社會に三人六分の割合にて下等社會は殆んど上等に二倍せり下等社會あるが故に衣服衾褥を日々清潔にする能はず予等が往診するに方り未だ其寢所に入らざるに早くも一種言ふべからざる臭味に撲たるゝなり此の如きに至れば既に治療の望みなく病家に於ても既に看護に疲れ早く病者の死亡を希ふに至る然れとも患者自身は尚は食事等に異常なきにより切に回復を望み甚だ氣の毒の至りに耐へさると常なり

元來子宮病あるものは場所が場所故患者も成るべく之れを掩蔽するの傾向多きは甚だ憂ふべきことと謂ふ可し故に若し前述の如き癌腫の徵候ある時は速かに醫師の診察を受け大患に至らざるに治療することの注意最も肝要なりとす

疫癘は最優等の生活物たる吾人々類と最劣等の生活物たる疫毒との生存競爭に外ならず豈に人類を以て疫毒を克制し得べからさるの理あらんや

講師　伊野宮　貢君述

予が述へんと欲する所の大意は此に掲記したるか如し本會は昨年創立せられ爾來種々の講話ありたるを以て予か述べんと欲する所の如きは諸君に於て充分知了せらるべしと雖も聊か予の實驗に就て講話せんと欲す諸君幸に之を諒せよ

抑も疫癘とは流行病を云ふものにて是れが原因に就て詳説せは頗る長時間を要すべし故に簡單に之を言へば

バクテリア
　バチルス　（杆狀微菌）
　コックス　（球狀微菌）

即ち最劣等の生活物と最優等の生活物との競爭に外ならず故に優等の生活物にして劣等の生活物に負る時は遂に一命を失ふに至るものにて苟も生活物の最優等に位するの人類たるものは是等劣等の生活物を殺し以て一身を保護せざる可らさる之而して最劣等の生活物とは何ぞ即ち此に掲記したる『バクテリヤ』又はばいそうと稱するものなり此の『バクテリヤ』に二種あり一を杆狀と云ひ一を球狀と云ふ『バチルス』は長く『コックス』は細かきものにて杆狀は草木に生し球狀は動物に生す又た此の徴菌は吾々上等の生活物とは全然反對の結果の生ずるものにて人類は清潔なる所に捿み新鮮なるものを喫し以て其生を養ふと雖も徴菌は不潔の所に捿み不潔の物を食ひ以て其生を逞ふす偖て之れに打ち勝つの方法は歐米にても既に研究を積み敢て難しとする所にあらず其の方法は攝氏百度以上の熱度を加ふるとか或は昇汞を以て洗滌するとか種々の責道具ありと雖も先ッ日常施行し得るの方法より說述せん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

平常の食即物ち水、野菜、米穀、肉類等バクテリアなきにしもあらざれば若し不幸にして之を嚥下するときは『バクテリア』は體内に侵入して或る部分を侵害することあり血咯『バチルス』ある患者の痰等の食物或は水中に混したるを健康の人誤て之を飲む時は『バチルス』は肺中に止て捿息するものなり而して此の『バチルス』にも各々捿息する場所ありて血咯『バチルス』は肺に止り或る『バチルス』は水脈線粘液膜等に止まりて赤痢、虎列刺、腸室扶斯等を引起すに至る故に此の『バチチス』を撲殺するには攝氏百度以上の熱度を以て煮沸し而して後食するに於ては決して流行病に罹ることなしと信ずるも可なり斯く説述するも是れ竟畢机上の空論に過ぎずと云ふものあらんと雖も予は戰地に於て煮沸物を食するの衛生に効あるを覺知せり

現に日清戰爭の際銃丸に斃れたるものは僅々なるに流行病に斃れたるものは殆んど數ふるに遑あらず殊に廿八年四月より七月迄の間最も甚だしく虎列刺あり赤痢あり窒扶斯あり脚氣あり一個師團一万五千人の中戰闘力なきものは八千人以上の多きに及びたり近衛兵が戰闘力に乏しく屢々匪徒の爲めに苦しめられしは畢竟之れが爲めに外ならず予は當時は牛莊大連金州等に居たるものなるが牛莊には清國人一万有餘あり我が日本人は守備隊一中隊戰闘隊三大隊駐屯したるに一中隊凡そ二百人中に於て流行病其他の病に罹るもの百人以上あり概ね屍を異郷に晒すに至れり偖て何故斯く流行病に斃るゝかとの事に就て調査を遂けたるに不思議にも清國人は乞食を除くの外一人として流行病に罹れるものなきを確めたり依て其原因を講究

せしに淸國人は水を飲まず生物を食はず蔬菜肉類も總て攝氏百度以上の熱度を以て煮沸し口中に入るれば溶解する位に爲せり然れども土地の不潔なることは實に驚くべき程にて道路の如きも我國は凸形なるに淸國は凹形を爲せり故に一朝洪雨に際會せば恰も河川の如く到底通行すへからさるに傍らに人糞獸糞堆を爲し其臭氣中々堪ゆらるべくもあらず又室內は塵垢山の如くして足の踏み所なき程なるも苟も家屋に住居する淸國人は一人として流行病に罹りたるものなし是れ能く煮沸したる食物を用ゆるに起因すること明確なれば我陸軍及び海軍も食物の規程を嚴にし生物及び生水を飲むことを禁したるも兵士は中々聞入れず水を飲み生物を食ふを以て遂に流行病者を增殖するに至れるなり余は從前より『バクテリヤ』は百度以上の熱に當れば生息せざるものなることを承知せりと雖も此時最も其然るを感せり

前述ぶる如く苟も家屋に住居する淸國人は流行病に罹りたるものなしと雖も乞丐等は往々此の災に罹るものありと見へ金州と大連灣との間に一人の男畑の中に斃れたるあり淸國人は毫も之を顧みざるを以て予之を檢せしに正しく虎列剌に罹りたるものなるを以て憲兵をして假埋葬を爲さしめたり

扨て予は此に至て增々感すること甚だしく爾來今日に至るも未だ嘗て生物を食せず故に諸君も前述の方法に依り食物は必ず攝氏百度以上の熱度に煮沸して後食用とすべし斯くせば流行病の元素たる『バクテリヤ』も毫も恐るゝに足らず願はくは向後一層の御注意あらんことを

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尚は終りに望んで一言御注意すべきことあり他にあらず面部等に一寸と腫物の出來ることあり痒きものなるを以て爪に破り遂に面瘍に變することゝあり是れ爪の垢中に含める『バクテリア』皮膚中に入るを以てなり故に爪は必ず三日に一度位づゝ除き去り石鹸を以て能く洗ふべきなり先づ今日は此に止め『バチリス』『コックス』の講話は後回に讓らん

廣告

◎新潟支會會員にして六月以後脩身會員及特別會員に變せられし者左の如し

脩身會員　鍵富節子
特別會員　池原きん子

◎入會者

仝上　竹山れつ子
仝上　山口せい子
仝上　鍵富孝子
仝上　和辻わい子

◎井村かつ子の紹介に依り

本郷區第一醫院　喜多清子
仝　鎌形きく子
仝　木村いわ子

◎大石こう子の紹介に紹り

本郷第一醫院　加藤しん子

◎事務所へ申込に依り

愛知縣三河國岡崎町字宿生　安藤三通尾子
神田區錦町三丁目貳番地東京看護婦會內　大越こう子

◎山本里子の紹介に依り

木平八重子

京橋區西紺屋町八番地山本里子方　鈴木清子
　　　　　　　　　　　　　　　　山本政子
新潟市東大畑通貳番町　水野とら子

◉新潟支會へ申込に依り

仝市上旭町一番町四十二番戸
特別會員　清州とみ子
仝上大川前通り　倉田きく子

◉移轉者

神田區錦町三丁目二番地へ　有泉房子
日本橋區濱町二丁目四番地　森川かめ子
仝上　山脇きよ子
四谷區左門町六拾一番地三宅方　星野茂尾子
麹町區下二番町四十一番地へ　吉武輝技子
四谷鹽町一丁目二十四番地両角寛方へ　土井榮子
本郷區湯島新花町九十八番地切通坂上へ　佐藤らく子
長崎縣西彼杵郡高島炭坑へ　大木珠子
赤坂區氷川町五十一番地へ　太田龍子
武州市横濱戸部町三丁目六十番地へ　福地靜子
西大久保村四百六十番地へ　與倉靜子
牛込區東五軒町十六番地へ　上原とよ子
廣嶋縣廣嶋市知事官舎へ　淺田みね子
大分縣大分市知事官舎へ　杉本かの子
下谷區御徒町一丁目三十番地前田健次郎方へ　早川はな子
越後國佐渡郡川原田町へ　大島織江子

◉正誤

前號新潟支會園遊會の記事中淺田邸内に於て役員會員共一同打揃ひ撮影をなし云々とあるは淺田前會長杉本前副會長送別の際撮影の誤り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

私立大日本婦人衞生會規則

第一條　凡本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持するの方法を講究し衞生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

第二條　本會は私立大日本婦人衞生會と稱し之を東京に置く

第三條　本會の會員たらんと欲する者は身分の尊卑を問はず何人にても入會することを得

第四條　會員たらんと欲する者は族籍住所姓名を記し本會事務所へ申込ある可し
但事務所は下谷區練塀町四十三番地に置く

第五條　本會々員を分て修身會員特別會員通常會員の三類とし共に會費金を納むる者とす
但終身會員は一時に金拾圓以上を納め特別會員は一年金二圓四拾錢以上を納め通常會員は同金壹圓二拾錢を納むる者とす尤も會員中書生及其他事故ある者は唯雜誌料として同六拾錢を納めしむ

第六條　男子にして本會の主義を賛成する者は之を賛成員とす尤も會費は本會員に同し
但本會に功勞ある者は役員の協議を以て終身賛成會員(無會費)とすると有る可し

第七條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉す推戴員は皇族の御息所等に之を申請するものとす

第八條　本會は左の役員を置く　會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第九條　會長副會長及幹事評議員は會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推撰により會長之を命ず
但書記は都合により會員外の婦人又は男子に托することあるべし

第十條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し又は其代理をなし幹事は會長の命を受けて會務を處理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命に從て諸記錄及雜務を掌る
但幹事の分課を設けて第一　會計　第二　編輯出版　第三　庶務とす

第十一條　會長の見込を以て右役員外に會員中より臨時に指名委員を置くことあるべし

第十二條　會長副會長及幹事評議員の任期は一年とす尤も再撰するも妨げなし

第十三條　會長副會長及幹事評議員は無給料とし書記は相當の報酬を給す

第十四條　本會の集會は七月八月を除くの外每月一同として通常第一土曜日午後一時より之を開く

第十五條　每會學識經驗ある者を聘し講義演説を囑し本會々員の演説と共に之を筆記して本會雜誌に掲載し每月各一冊つゝ無代價にて之を會員に頒付するものとす
但し演説の間に談話を交ゆる事あるべし

第十六條　會員は家族の婦女子又は知己の婦人を本會々場に誘致して傍聽せしむることを得

第十七條　本會講義演説の際男子の傍聽を禁ず
但會員に緣故ある男子は此限にあらず

第十八條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす
但些少の金額は日々の費用支出の爲め事

明治二十一年二月二十八日内務省許可

務所に引出置を得

第十九條 會計の収支は總て會計課幹事の捺印を要す

第二十條 會員又は會員外より金圓若くは書籍物品等を寄贈あるときは本會より謝狀を送り且寄贈の品目及其人の姓名を本會雜誌に載せ報告するものとす

第廿一條 會費は郵便小爲換にて東京下谷郵便局へ向け振出しある可し

但不得止場合には郵便劵を代用するも妨けなし尤も一割增とす

第廿二條 入會員には會員證を附與すべきに付郵便にて申込の者は郵便劵二錢を添ふ可し

第廿三條 每年三月九月の總會に於て會計の收支庶務の概略幷に會員の增減等を報告す可し且規則改正の案あれば之を議定するものとす尤も議定は總て多數決とし可否半數なるときは會長之を決す

但至急規則の改正を要する事あるときは豫め會員に報して臨時に之を爲すことを得

第廿四條 三月の總會に於て役員の撰擧をなすものとす

第廿五條 規則の範圍內に於て役員の評議を以て會細則を設くることを得

第廿六條 各地方にて發起者十人以上ある者は支を設くることを得

但其規則は本會の規則に抵觸せざる樣起草し本會役員の認可を經へし

第廿七條 本會の集會場は時々報知する者とす

第廿八條 會費金は受領證を付與すべし尤も小爲替又は郵便劵にて納むる者は右受領證遞送費として郵劵二錢を添ふべし然らざれば受領證は送付せざるものとす

明治二十五年九月

東京下谷區練塀町四十三番地

私立 大日本婦人衛生會

齒科診察

午前八時より
午後五時まで

東京日本橋區本町二丁目十二番地

齒科醫 高橋コウ

明治三十年七月十八日印刷
明治三十年七月二十日發行

發行所 東京下谷區練塀町四十三番地 大日本私立婦人衛生會

編輯兼發行者 東京牛込區矢來町三番地 田中德三郎

印刷者 同 神田區小柳町十三番地 小高良造

印刷所 同 神田旅籠町貳丁目拾一番地 廣業館

明治廿六年四月四日遞信省認可毎月二十日發行

（定價金拾錢）